

1. 次の楽曲はハイdn作曲、弦楽四重奏曲op.76-6の一部分である。下記の問いに答えなさい。

①～⑩の音程名を答えなさい。また、①～⑥の転音程と同じ音程になるように下の楽譜の各音の上方に全音符で書きなさい。

(音程名) (2点×10=20点)

① 完全4度	② 長2度	③ 増1度	④ 短7度
⑤ 短3度	⑥ 重増8度(1octと重増1度)	⑦ 減7度	⑧ 増10度(1octと増3度)
⑨ 長13度(1octと長6度)	⑩ 完全5度		

(転音程) (2点×5=10点)

2. 次の(a)～(f)で示される音階になるよう、必要な箇所に变化記号を書きなさい。(3点×6=18点)

(a) ⑦を主音とする長音階

(b) ④を導音とする和声短音階

(c) ⑦を第Ⅲ音とする旋律短音階上行形

(d) ⑨を属音とする長音階

(e) ⑥を第Ⅵ音とする旋律短音階上行形

(f) ⑩の異名同音を下属音とする和声短音階

II. 次の楽曲について、下記の問いに答えなさい

1. (1)～(7)の和音について種類、転回形、所属調を右からそれぞれ選び、種類・転回形(1点×14=14点) その記号、あるいは番号を書き入れなさい(短調は和声短音階とする)。所属調(完答)(3点×7=21点)

和音種類	転回形	所属調			
(1) ア	B	2	3	4	15 17
(2) カ	A	12			
(3) イ	A	2	3	4	14 15
(4) エ	A	13			
(5) オ	D	3	16		
(6) イ	A	5	6	7	16 17
(7) ウ	A	5	16	19	

種類	所属調
ア、長三和音	1. Ⅰ長調 12. Ⅱ短調
イ、短三和音	2. Ⅰ長調 13. Ⅱ短調
ウ、減三和音	3. Ⅱ長調 14. Ⅰ短調
エ、増三和音	4. Ⅰ長調 15. Ⅱ短調
オ、属七の和音	5. Ⅰ長調 16. Ⅱ短調
カ、減七の和音	6. Ⅱ長調 17. Ⅰ短調
転回形	7. Ⅱ長調 18. Ⅰ短調
A. 基本形	8. Ⅱ長調 19. Ⅰ短調
B. 第1転回形	9. Ⅱ長調 20. Ⅱ短調
C. 第2転回形	10. Ⅱ長調 21. Ⅱ短調
D. 第3転回形	11. Ⅱ長調 22. Ⅱ短調

2. 次の文中の[ ]に調名を、《 》には関係調の名称を書き入れなさい(短調は和声短音階とする)。(2点×6=12点)

- a. (1)と(3)を同時に含む短調の《 Ⅰ 平行調 》はⅡ長調であり、属調は[ Ⅱ 嬰ハ短調 ]である。
- b. (5)の所属調の平行調は[ Ⅰ ロ短調 ]と[ Ⅱ へ長調 ]である。
- c. (6)をⅥ度の和音とする調の同主調の異名同音調は[ Ⅱ 嬰イ短調 ]である。
- d. (7)をⅡ度の和音とする調の《 Ⅱ 下屬調 》はⅠ短調である。

III. ①～⑥の楽語の意味を右から1つずつ選び、その番号を書き入れなさい。(1点×5=5点)

① <i>grazioso</i>	2
② <i>piacevole</i>	5
③ <i>sostenuto</i>	10
④ <i>lento</i>	4
⑤ <i>vivace</i>	8

楽語	
1. 決然と	6. 悲しげに
2. 優雅に	7. 緩やかに
3. 堂々と	8. 活発に速く
4. 非常に	9. 最初の速さで
5. 愛らしく	10. 長さを十分に保って